





“ちょうど良いDX”
の考え方を
当社社長が
整理した
Amazon書籍

株式会社ヤギヤエンタープライズ

本社	富山県砺波市高道33-1
SS名	①高道SS ②ダイナミックヤギヤSS
上記SS所在地	①富山県砺波市高道33-1 ②富山県高岡市六家1711-1
HP	https://yagiya.co.jp/



IT畑出身の若手社長が率いる地域活性化集団。
 自社に合ったちょうど良いDXの推進により業務を効率化（時間外労働を2年間で80%削減）し、**社員の問題解決力・提案力を向上させる仕組みづくりに注力。**
 SSの集客力を生かし、美容や食、AIに至るまで**様々な事業をPRする場を提供するとともに、見えた課題の解決を後押し（Boost X project）**することで、**地域一帯となった経済活性化を実現**させている。

SSを「地域をBoostする経済活動のインターフェース」に

ひと、ビジネス、地域・社会を活性化（=Boost）させるプロジェクトを遂行中！

取組の内容

- SSへの風当たりが強くなる中でも、SSの「人が立ち寄る場所」であり、「どのような事業にも応用できる」ことに魅力を見出し、事業を承継する。代表就任後には、昔ながらの地元企業に合ったDXを推進し、業務効率の向上を実現。
- 油外収入を獲得しつつ地域を活性化させる、まさに三方よしの取組である「**Boost X project**」を実施。SSを地域の経済を活性化させていく拠点と位置づけ、商売やサービスのテスト販売からデジタルマーケティング、経営コンサル等といった、事業を加速させるための手厚いサポートを実施。
- 「Boost X project」における売上の一部を砺波市に寄付することで自治体とのつながりを構築し、産官が一体となって地域の活性化につながっている。



ここがポイント

- #### ① ちょうど良いDXの推進

SS業界は、その場に人がいる前提でのアナログなやりとりが残る中、限られた人数で、通常のSS業務に加え、油外収入の獲得に資する取組を進めるため、平均年齢56歳の地元のSSに合う「チャット／スケジュール管理／勤怠ツール」等を導入することで業務が効率化され、2年間で時間外労働を80%削減させることに成功。少数精鋭が通常業務以外に複数のプロジェクトを担当し遂行中。
- #### ② 経営計画書に基づく「仕組み」づくり

代表（会社）の考え方や方向性、今後の計画や評価基準等が記載されている**経営計画書を作成**し、その方針に沿って頑張った分だけ評価され、給与にも反映される仕組み（規程）を構築。従業員の方々も、これからのSSのあるべき姿をイメージして日々の業務に取り組んでいる。
- #### ③ Boost X project

商品の販売やイベントの開催等を考えている**事業者に対して、集客力のあるSSの敷地を活用し、初期費用無しでテストマーケティングやプロモーション等のサポートを実施。**当該プロジェクトのつながりから、中小企業の経営サポートサービスを事業展開するとともに、地域事業者のニーズに応じて個別のセミナーの実施、スタートアップ支援施設においてAIセミナーの講師を務めるほか、行政のデジタル推進に係る政策提言も実施している。HP（Boost X project）：<https://yagiya.co.jp/boost/>

